



「guppy」 颯田圭子氏（アナウンサー 日進市在住）

### 今月のことば

#### スノーボール・アース

かつて地球の表面が、すべて水で覆われていた時代がありました。・「スノーボール・アース」という仮説が、最近注目を集めています。地質学者の調査により、今から約7億年前の赤道直下の地層に、氷河の存在を示す痕跡が発見されたのです。地球の表面は全て氷河で覆われ、赤道直下でも気温がマイナス30度以下まで低下したと考えられています。現在の南極のような環境の中で僅かに生き残った微生物達が、後のカンブリア時代に多様な生き物へと進化したことになります。かつて、なぜ地球がスノーボール（雪の玉）のように凍結したのか。過去の気候のメカニズムが解明されれば、将来の地球環境の変化を予測することに、役立つかもしれません。

(O.Y.)

### 〈目次〉

〈史的人物のカルテ〉 音楽家	2~3
.....古井脳神経外科 院長 古井倫士	
逆流性食道炎とその周辺	4
.....三浦内科 院長 三浦利重	
人生足別離（人生 別離足し）	5
.....鈴木内科 院長 鈴木善充	
山の話 -その3-	6
.....セントラル皮膚科 院長 坪根幹夫	
平成23年夏期休診一覧	7
栄（SL医療グループ） 近辺—6	8
楽しいこと、幸せな事—2	
.....森川クリニック 院長 森川建基	

## 逆流性食道炎とその周辺

三浦内科 院長 三浦利重

### I 初めに

呑酸、胸やけ、食道の異物感やつかえ感、耳痛、かすれ声、のどのつかえ感や違和感、睡眠障害、喘息、慢性の咳、狭心症かと恐れるほどの胸痛。これらとりとめのない症状がたった一つの病気から生じている可能性があると言ったら少し驚かれるでしょうか。

(呑酸＝酸味を有する胃液が口腔内に逆流する現象。苦い水が上がってくる、酸っぱい水が上がってくるという訴えになる。)

(胸やけ＝食道内に灼熱感の起ること。焼け火箸を突っ込まれたような感覚から、何となく熱を持ったような前胸部の不快感まで、程度はさまざま。)

胃液の食道内への逆流によって食道症状として、呑酸、胸やけ、食道異物感、げっぷやもたれ感が出現し、そのほかに食道外症状として胸痛や喘息様症状、慢性咳嗽、嗝声、耳痛、不眠等も起こりうるのです。これら一連の症状を引き起こす病気として、食道にびらんや潰瘍を作る逆流性食道炎が注目されていました。

### II 逆流性食道炎から GERD (胃食道逆流症) へ

その後研究が進むにつれて二つのことが分かりました。第一は食道にはっきりした潰瘍やびらんが見られるのに何の症状もない一群の人たちがいること。第二に食道には全く傷がないのに、先ほどの食道症状や食道外症状のみられる例が多数存在すること。これらの経験を踏まえて逆流による症状あるいは食道炎のどちらかがあれば GERD と診断することになりました。もう少し厳密な定義をすると、GERD とは胃酸を中心とした胃内容物が、食道内へ逆流することに起因する、さまざまな病態および疾患群であるとなります。GERD は gastro - esophageal reflux disease の略語で日本語では胃食道逆流症と言いますが医師たちは GERD (ガード) の名称を好んで使用しています。これとは別に

NERD (ナード) という病名も最近ではよく使われますが、これは non - erosive reflux disease (非びらん性逆流症) の略で GERD のうち、症状はあるが食道に傷のないものを指します。(胸やけを訴える人のおよそ 7 割は NERD であり、肥満者は少なくむしろ若い女性に多いとの説もあります。) 定義により胸やけと呑酸の 2 つの定型的症状があれば GERD と診断できます。それほど典型的でない症状の時には酸分泌抑制薬の PPI を 2 週間使用し症状が改善すれば GERD と診断します。(PPI テスト＝治療的診断法)。しかし、がんの存在を否定し、どの程度の病変かを確認することも大事なので、この病気が疑われた場合日本では内視鏡検査がほぼ全例に行われています。

### III いまなぜ GERD か

患者さんが増え、その苦しい症状のために生活の質が悪化している方が多いからです。30 年ほど前にはまれな疾患だったのに、今や胃潰瘍や十二指腸潰瘍の患者さんより多い。一番の原因は、食生活の欧米化や元気なお年寄りが増えたことによる胃酸分泌の増加でしょう。昔は欧米人の 10 ~ 20% ぐらいの低い胃酸であった日本人が、近年高齢者・非高齢者ともに分泌量を増やしています。その他の原因として、酸度をあげる薬や噴門括約筋の圧力が減る薬の服用、体型として肥満や亀背、ピロリ菌感染の減少などがあげられます。

欧米では週に一回以上の胸やけを訴える人の割合が 15% ぐらいあり、GERD → パレット食道 → 食道線癌の急増が問題になっていますが日本ではこのルートからの癌は少ない。

難治性の逆流性食道炎では早期の食道がんや、膠原病の存在を考慮する必要があります。当科でも無症状の、中部食道の幅の広い線状びらん 5 例のうち 1 例は前癌病変であった。

詳細は三浦内科ホームページへ